

主な議案

平成22年度一般会計補正予算(第4号)

市税収入の大幅な減収傾向が続く中、小平市は平成16年度以来6年ぶりに普通交付税の交付を受けることになりました。

本補正は交付団体に移行したことによる普通交付税の収入及び前年度繰越金を主な財源として市の財政基盤の強化を図り現状の行政需要に対応する事業を実施するためのものです。

歳入は、普通交付税11億4千7百2万8千円と前年度繰越金9億7千5百58万8千円を合わせた21億円ほどで、交付税は臨時財政対策債の借入額抑制に活用し、繰越金は2分の1を財政調

可決、同意または承認した議案から主なものをお知らせします。

整基金へ積み立て、残り2分の1に国・都支出金を合わせた8億円ほどが具体的な事業に活用する実質的な財源の主なものとなっています。

歳出の主な事業は、議会中継録画システムの導入、子宮頸がん予防接種補助の実施、公共施設における電灯のLED化、地域開放型体育館建設に向けた花小金井南中学校隣接地の購入などです。なお、中学校拡張用地購入のための起債を行います

が、交付税の活用により市債全体の残高は縮減していきます。補正額は、歳入歳出をそれぞれ18億5千9百12万円増額し、補正後の予算総額は5百62億5千7百7万8千円とするものです。

特別会計決算特別委員会

津本 裕子 ○日向美砂子
虻川 浩 加藤 俊彦
小林 秀雄 斎藤 貴亮
佐藤 充 佐野 郁夫
島村 速雄 滝口 幸一
橋本 久雄 平野ひろみ
宮崎 照夫

【一般会計】

9月定例会最終日に、市長から平成21年度一般会計及び特別会計決算の認定議案が提出され、議会は決算審査のため決算特別委員会を設置しました。審査報告は12月定例会初日に行います。(日程等は8面参照)

一般会計決算特別委員会

- 鴨打喜久男 ○藤原 哲重
浅倉 成樹 石毛航太郎
岩本 博子 川里 春治
木村まゆみ 斉藤 一夫
立花 隆一 常松 大介
苗村 洋子 西 克彦
宮寺 賢一 山岸真知子



子宮頸がんワクチン任意予防接種のお知らせ(対象者送付文書)

専決処分(平成22年度一般会計補正予算(第3号))

市内の法人の市民税法人税割に過去4年度分にわたり多額な還付金が発生したため、還付事務が遅れると還付加算金の支払いも必要になることから、事務を進めるため、市長専決で行った補正を承認しました。

補正額は、歳入歳出それぞれ8千万円増額し、補正後の予算

補てんするため市債を増額しました。また、地方交付税は交付されず5年連続の不交付団体になりました。歳出は、こだいら21世紀構想の4年目に当たり、第三次長期総合計画の着実な推進を図るとともに、マニフェストに掲げた56の約束の実現に向けて各種の事業を実施いたしました。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額5百49億7千3百74万円、歳出総額5百31億8千9百8万円となりました。歳入は、景気後退及び雇用の悪化などにより市財政の根幹をなす市税のうち個人市民税、法人市民税が減収となりました。国庫支出金は、平成20年度の国の景気対策で実施された定額給付金給付事業がなくなったため大きく減額となり、税収等の収入減を

歳入総額百59億4千9百32万円、歳出総額百56億8千3百22万円となりました。歳入は、被保険者数が前年度に比べ0・2%の増、保険料は前年度に比べ0・6%減となりました。その他、療養給付費等給付金が退職医療制度の原則廃止に伴い大幅な減、前期高齢者交付金は前年度が過大交付であったことか

【老人保健特別会計】

老人保健制度は後期高齢者医療制度に移行しましたが、本会計については過年度の医療費に係る精算等、会計上の必要から平成22年度まで存続します。

歳入は、被保険者数の増により医療保険料が増え、納付する

総額は5百43億9千2百58万8千円となりました。

平成22年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

前年度繰越金の確定と本年度決定した交付金等の補正を行うほか、前年度国庫負担金等の精算に伴う追加交付及び返還金に係る所要額を計上するものです。

歳入は、前期高齢者交付金等を増額し、療養給付費等国庫負担金を減額するものです。

歳出は、後期高齢者支援金等及び前年度国庫負担金返還金等を増額し、介護納付金を減額するものです。

議会人事

小平市民生委員推薦会委員

- 浅倉 成樹議員
島村 速雄議員

教育委員会委員の任命

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について同意を求める議案が提出され、次のとおり任命することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める議案が提出され、次のとおり選任することに同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

法務大臣から委嘱されている人権擁護委員を次のとおり推薦することに同意しました。

- 福井 知子氏
石川 貞子氏

介護保険事業特別会計

第1号被保険者数は3万6千5百27人、要介護・要支援認定者数は5千3百62人で、ともに前年度より増加しました。保険給付費は82億5千5百58万円で、前年度に比べ約3・4%の増となりました。

下水道事業特別会計

下水道管渠等に係る維持管理費、建設費及び公債費の執行が主なもので、汚水整備事業では小川町一丁目区画整理事業内など、雨水整備事業については落合川排水区管渠築造工事をそれぞれ計画的に進めました。

議案に対する各会派の賛否

9月定例会

〈議員提出議案〉

議案番号	件名	政和(7人)	公明(6人)	フォ(6人)	生ネ(4人)	共産(3人)	市自(1人)	議決結果
第67号	都市再生機構の賃貸住宅を公共住宅として維持させ、居住の安定策を確立することを求める意見書	○	○	○	○	○	○	原案可決
第68号	都市再生機構が賃貸住宅の公共住宅としての位置づけを維持し、居住の安定策を確立することに関する要望決議	○	○	○	○	○	○	原案可決

〈市長提出議案〉

議案番号	件名	政和(7人)	公明(6人)	フォ(6人)	生ネ(4人)	共産(3人)	市自(1人)	議決結果
第37号	専決処分(平成22年度小平市一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	承認
第38号	小平市教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	同意
第39号	小平市固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	同意
第40号	人権擁護委員候補者の推薦	×	○	○	○	○	○	同意
第41号	平成22年度小平市一般会計補正予算(第4号)	×	○	○	○	○	○	原案可決
第42号	平成22年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	原案可決
第43号	平成22年度小平市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	原案可決
第44号	平成22年度小平市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	原案可決
第45号	平成22年度小平市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	原案可決
第46号	小平市保育園保育料等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	原案可決
第47~65号	市道路線の認定及び廃止(18路線の認定、1路線の廃止)	○	○	○	○	○	○	原案可決

会派名略称

政和：政和会

公明：市議会公明党

フォ：フォーラム小平

生ネ：生活者ネットワーク

共産：日本共産党小平市議団

市自：市民自治こだいら(無会派)